

一般社団法人新潟県言語聴覚士会

当士会の一般社団法人化にあたって

一般社団法人新潟県言語聴覚士会 会長 佐藤 厚



総会風景

新潟県言語聴覚士会は2017年10月に一般社団法人としての登記を行い、2018年3月に旧県士会を解散、4月から法人としての県士会活動を本格的にスタートいたしました。法人設立の経緯で相談に乗っていただいたり、資料を提供していただいた他県士会の方々にこの場を借りて御礼申し上げます。

当県士会は現在会員が360名あまりです。法人格を得たことでそれに応じた立場を得た反面、社会的責任を果たすことを、より一層期待されることを会員一人一人がこれからはしっかりと認識していかなくてはなりません。そして何よりも諸会員が、言語聴覚士の社会的認知度が高まっている、と感じ、それに応えるべく仕事をなしていくことが、法人化の大きな意味での目的だろうとも考えています。

去る6月2日には、新潟市内で日本言語聴覚士協会から

深浦会長、山形県言語聴覚士会の田口会長、福島県言語聴覚士会の阿久津会長、特別講演講師の総合南東北病院佐藤睦子先生をはじめ、関係団体をお招きして法人化記念式典を開催することができました。ご列席の会員の皆様、ありがとうございました。式典は終始和やかに進めることができ、ご列席の会員の皆様とは、楽しい二次会を共にすることもできました。皆様に酒所新潟の銘酒と海の幸を堪能していただけたかと…。私は飲み過ぎておぼろな記憶ですが、当県士会の誇る幹事団がしっかり心得ていたことと思います。この日は午前には学術集会、お昼に一般社団法人としての第1回総会、午後から特別講演会、記念式典と大変な一日でしたが、会員のみんが持つ力を改めて感じることができました。

言語聴覚士とその業務の未来を考える上で、職能団体が

その責任を果たすことは大変重要です。言語聴覚士という仕事を県民の誰もが知っていて、多くの高校生たちが言語聴覚士になりたいと言えるような活動を行っていきたく思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



祝賀会にて
(上)新潟医療福祉大学ダンス部
(左)佐藤睦子先生と深浦会長と